

協議会議事録

会議名	
令和２年度第２回岬町介護保険運営協議会	
出席者	
【出席委員】 河野会長、市川副会長、八田委員、大浴委員、 多田委員、茂野委員、岸本委員、大野委員、石橋委員、甲斐委員 【欠席委員】 志賀委員、川島委員、辻下委員、竹原委員 【事務局】５名 支援業務委託者１名 【傍聴者】０名	
開催日時	開催場所
令和２年１１月９日（月） １４：００～１５：３０	岬町役場２階会議室
協議内容	
※議事説明と配布資料を参照すればわかるものは議事録から割愛いたします。 【会議資料】 資料１ 岬町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 単純集計速報値 資料２ 岬町在宅介護実態調査 単純集計速報値 資料３ 岬町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査自由意見報告書 資料４ 岬町事業所ヒアリング調査報告書 資料５ 第８期介護保険事業計画作成のための地域分析・検討結果記入シート 資料６ ２０２５年、２０４０年を見据えた基盤整備のあり方 資料７ 岬町地域包括ケア計画（たたき台） その他 【次第】 ○議事 （１）「岬町地域包括ケア計画 高齢者保健福祉計画及び第８期介護保険事業計画（素案）前半について （事務局より資料１～４に基づいて説明） （委員）	

コロナ禍で、施設系や医療系で影響があると感じている。

（委員）

資料 1 P12 の問 8 の右側に数字がない部分は今回初めての設問となるのか。

（事務局）

その通り。

（委員）

資料 4 P5 にある利用者の確保とは事業者側の問題ではないのか。

（事務局）

開設後しばらくは数の確保が厳しい状況もある。

（委員）

資料 3 の意見は全庁で共有できるようにしていただきたい。

（事務局）

担当課へ情報提供はしているところ。しっかり対応していきたい。

（委員）

有資格者の確保は課題だと感じている。

（事務局より資料 5 ～ 7 に基づいて説明）

（委員）

資料 7 P22 の「フレイル」についてわかりやすい表現にしてはどうか。

（事務局）

そのように対応したい。

（委員）

資料 7 P18 の配偶者 65 歳以上と 64 歳以下で区別しているが、その分け方に意味があるのか。

（事務局）

設問内容については国の必須設問となっている。

（委員）

資料 7 P27 について、グラフ内で「現在行っている介護」と「不安を感じる介護」を合わせた形にしてはどうか。

（事務局）

クロス集計等で効果的に対応したい。

（委員）

資料 7 P23 の課題にあるようなサービスを充実させることが必要とあるが、現状では人員確保の難しさがある。

（事務局）

介護人材について、多様な仕組みづくりで対応するとともに、人材確保として大阪府と連携するとともに、しっかり対応していきたい。

（委員）

自身が介護対応している身であり、大変さや状況もよく理解している。

（委員）

将来的な人口等も踏まえた計画となればよい

（委員）

介護人材に対しての給与補助等の施策はあるのか。

（事務局）

国の介護報酬が基本であり、町独自施策はないが介護人材の確保の観点から、多様な取り組みを今後検討していきたい。

（委員）

入浴等に対しての支援は手厚くしていただきたい。介護人材への種々の支援も併せてお願いしたい。

（委員）

外国人人材の確保等はどういう状況か。

（事務局）

入所施設では一定数いる状況だが、自宅への訪問など在宅サービスの介護人材はほとんどいない状況。

（委員）

外国人人材は在宅サービスへの対応が難しい状況がある。福祉人材の処遇面では、介護報酬の処遇改善加算があり随分と良くなっているが、処遇改善以外の介護報酬アップがほとんどないため事業所経営としては依然として厳しい。

（委員）

調査結果をもとにさらに良い計画としていただきたい。

以上